



## 第2回 富山県動物管理センター あり方検討会

令和5年9月29日（金） 10:30～12:00  
富山県民会館 611号室

### 本日の内容

- 1 前回（第1回）のご意見
- 2 動物管理センターに求められる役割・機能（案）
- 3 厚生センター業務の集約について
- 4 県民意識調査の結果について（速報値）
- 5 報告書の骨子案  
（参考）情報発信、SNSの活用について

## 1 前回（第1回）のご意見

### これからの動物管理センターに求められる役割・機能について

#### 情報発信に関するご意見

- ・動物管理センターの譲渡情報を見つけやすく工夫すべき  
（譲渡を行っていることを知らない人が多い）
- ・譲渡動物の情報発信にSNSを活用すべき
- ・愛護思想、適正飼養、人獣共通感染症の情報発信にSNSを活用すべき
- ・リーフレットは動物取扱業等と連携して配布すれば効果的

**今回**

動物管理センターでのSNS活用の取り組みを開始  
役割・機能の再整理

**今後**

意識調査の結果を参考に、より効果的な場所での  
リーフレット配布を検討

## 1 前回（第1回）のご意見

### 厚生センター業務の集約の必要性について

- ・動物管理センターへの機能集中によりサービスが向上/低下する部分を検討
- ・一定程度の集約が必要であるが、咬傷事故の対応等厚生センターでの緊急対応も必要

→次回（第2回）までに集約案を示してほしい

**今回** 事務局より集約案（3パターン）を提示

動物管理センターに  
1) 全ての動物愛護管理業務を集約  
2) 緊急対応、苦情処理以外を集約  
3) 動物の飼養管理のみを集約

- ・富山市と県が協働できる体制が望ましい
- ・富山市と県が共通化する業務、共通化のメリット/デメリットの整理

**今後** 富山市との協議

3

## 2 動物管理センターに求められる役割・機能（案）

### ①動物の命をつなぐ

収容可能頭数の増加（飼養施設の集約） 長期収容機能 動物福祉の確保  
不妊去勢手術の実施や診療機能の充実 譲渡動物の展示・ふれあい場所

### ②人と動物の **＝普及啓発＝** 共生に向けた情報発信

愛護思想 適正飼養 ワンヘルス  
HP、SNSの活用

### ③ボランティアの 育成・活性化

ボランティアへの支援や協働

拠点

### ④ペットの災害対策

情報発信 災害備蓄

### ⑤事業者等への指導・監督

監視指導業務の集約 専門性の強化

①②④の情報を、従来の広報（広報誌、ラジオ、HP）に加えてSNSで発信していく

4

## 2 動物管理センターに求められる役割・機能（案）①～②

	必要な機能	取組み	施設・設備
①	収容機能の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>譲渡対象動物飼養のため、長期収容が可能なスペースを確保</li> <li>譲渡対象動物に対する治療、不妊去勢手術を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物にストレスとならない構造の飼養施設</li> <li>シャンプー室、トリミング室・臨床関係施設</li> </ul>
	適正譲渡の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>譲渡対象動物に関する情報発信</li> <li>新しい飼い主とのマッチング及び譲渡後のフォローアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドッグラン</li> <li>飼育環境をイメージしやすい譲渡動物の展示・ふれあいルーム</li> </ul>
②	動物愛護教育の実施	感染症対策に考慮した犬猫ふれあい教室等を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会科見学等に対応できるコースや動線を確認した施設</li> </ul>
	適正飼養普及啓発の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物飼養や人獣共通感染症に関する情報発信（HP、SNSの活用）</li> <li>飼育放棄を考えている飼い主からの飼育相談等に対応する相談ダイヤルの設置と、そうした相談に対応できる職員の養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修ルーム</li> <li>啓発展示エリア</li> </ul>

5

## 2 動物管理センターに求められる役割・機能（案）③～⑤

	必要な機能	取組み	施設・設備
③	ボランティアの育成・協働・負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動に役立つ知識習得の講習会を実施</li> <li>ボランティア団体に譲渡する前の獣医療措置やボランティアで飼養中の動物の健康状態のフォロー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修ルーム</li> <li>啓発展示エリア</li> <li>臨床関係施設</li> </ul>
④	被災動物の救護の拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時、動物救護の拠点とし、負傷動物の治療を実施</li> <li>ライフライン整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時備蓄倉庫</li> <li>臨床関係施設</li> </ul>
	災害時に備えた普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>平時から自治体への防災教育や防災訓練等を活用した飼い主への普及啓発を実施</li> <li>HP、SNSを活用した情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修ルーム</li> <li>啓発展示エリア</li> </ul>
⑤	指導・監督の徹底	虐待、多頭飼育等の複雑化する事案への確に対応できる職員の育成	

6

### 3 厚生センター業務の集約について

#### 厚生センター業務の集約の3つの集約案

動物管理センターに次のパターンで集約する

**パターン1** 全ての動物愛護管理業務を集約

**パターン2** 緊急対応、苦情処理以外の業務を集約

**パターン3** 動物の飼養管理のみを集約

資料1-2、資料2へ

7

### 4 県民意識調査の結果について（速報値）

調査期間：8月28日 発送  
9月18日 回答締切

調査形式：Web回答のみ

設問数：最大18問（年齢、市町村等の基礎データ含む）

対象者：18歳以上の県民 2,000名、無作為抽出（市町村の人口比を考慮）

回答者数：558名

回答率：27.9%

送付物：資料3

結果：資料4

8

## 4 県民意識調査の結果について（速報値）

### 問2 動物飼育の有無について（複数選択可）

「現在、動物を飼育している」方が	33.5%
「以前、飼育したことがある」方が	46.8%
「今まで一度も飼育したことがない」方が	19.7%

### 問3、4 犬・猫の入手先（複数選択可）

犬	①ペットショップ等販売店（68.0%）、②ブリーダーから（14.7%）
猫	①拾った・迷い込んできた（48.1%）、②知人・友人から（28.4%）、③動物愛護団体から（19.8%）

### 問5、6 犬・猫への不妊・去勢手術の実施状況

全て or 1歳以上 に実施している	78.0%
オス or メス に実施している / 実施していない	22.0%

理由：必要だとは思わないから（40.6%）

引続き手術の必要性の啓発が必要

### 問9 犬・猫を飼い続けることに関しての心配事（複数選択可）

「災害時に同行避難ができるかを心配している」方が 55.5%

市町村と情報共有し  
災害対策の啓発が必要

9

### 問13 行政が強化すべき動物愛護に関する取組み（5つまで選択可）

- ①保護した犬猫の譲渡事業（40.5%）
- ②飼えなくなった犬猫の引取りを求める飼い主への指導（40.3%）
- ③犬の登録・狂犬病予防注射の推進等（35.8%）

### 問14、15 動物管理センター及びHPの認知度

いずれも低い

### 問16 動物管理センターに求める施設・設備（5つまで選択可）

回答	回答率
1 譲渡動物を自由に見学できる部屋	63.3%
2 譲渡動物とふれあえる部屋	53.8%
3 譲渡前の動物に不妊・去勢手術を実施する手術室	27.6%
4 現在よりもたくさんの動物を保護できる部屋	21.9%
5 動物の飼い方や病気、ペット防災等について学べる部屋	28.3%
6 社会科見学などに対応できる施設	33.5%
7 ボランティアが活動できる部屋	26.9%
8 多目的ルーム（イベントなどの開催場所）	16.1%
9 災害備蓄倉庫	13.4%
10 ドッグラン	21.0%

譲渡動物を見学できる部屋、  
譲渡動物とふれあえる部屋が  
上位を占めた

譲渡動物への  
高い関心

10

## 5 報告書の骨子案について

第1章 あり方検討の趣旨

第2章 富山県の動物愛護管理行政について

- 1 関係法令
- 2 富山県動物愛護管理推進計画
- 3 関連施設と所在地
- 4 現在の業務内容

第3章 現在の富山県動物管理センターの取組等

- 1 施設の沿革と概要
- 2 愛護事業 (1) 犬猫の返還・譲渡の推進 (2) 不妊・去勢手術の推進 (3) 愛犬のしつけ方教室 (4) 動物ふれあい教室 (5) 動物ふれあいフェスティバル (6) 災害時対策

第4章 本県の動物愛護管理行政の現状と課題

- 1 近年の状況 (1) 動物の収容頭数と内訳 (2) 譲渡頭数 (3) 殺処分頭数 (4) 動物取扱業
- 2 動物管理センターの業務内容と施設 (1) 業務内容の変化 (2) 飼養施設
- 3 厚生センターの業務内容と施設 (1) 業務内容の変化 (2) 飼養施設

11

## 5 報告書の骨子案について

第5章 動物愛護に関する県民意識調査の結果

第6章 動物管理センターに求められる役割・機能

- 1 動物の命をつなぐ
- 2 人と動物の共生に向けた情報発信
- 3 ボランティアの育成・活性化
- 4 ペットの災害対策
- 5 事業者などへの指導・監督

第7章 今後の動物管理センターの整備方針

- 1 厚生センター業務の集約
- 2 ボランティアとの連携について
- 3 富山市との連携について

12

(参考) 情報発信、SNSの活用について

県の広報媒体(県政全般に関する発信)

紙媒体：広報紙「県広報とやま」

新聞・フリーペーパー広報「県からのお知らせ」

テレビ：「とやまトピックス」「発見！とやまふぁみりー」

「とやまを学ブー 教えて！ケロ先生」「こんにちは富山県です」

ラジオ：「とやま情報スクエア」、コミュニティFM「県からのお知らせ」

ネット媒体：県公式ホームページ

SNS：X (旧Twitter)、Youtube、Instagram、LINE等

2021年3月に富山県のホームページがリニューアル

以前は動物管理センターは単独でサイトを運用していたが、  
県のホームページの階層下に位置づけられることになった

(参考) 情報発信、SNSの活用について

最近の取り組み

保護猫の特別譲渡会

9月2日(土)及び3日(日)

県公式X(旧Twitter)、Instagram(田畑委員のアカウント)で発信  
その他、HP、ラジオ、新聞で広報を実施

申込 13組  
実際の参加 9組  
譲渡成立 10頭  
(13頭に里親募集)

県公式Xでの発信



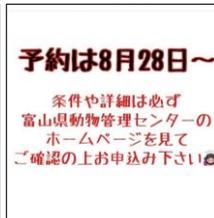
9月4日時点  
リツイート 20件  
いいね! 34件  
閲覧 1.2万件(フォロワー4.2万人)

(参考) 情報発信、SNSの活用について

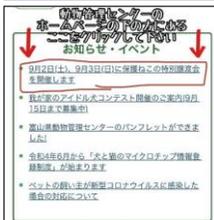
Instagramでの発信

田畑委員にご協力いただき、『月猫カフェ』のアカウントから発信した一例

- 受付前の事前告知 (①画像投稿、②ストーリーズ 各1回)
- 受付開始日の告知 (③動画投稿、④ストーリーズ 各1回)



	①	②	③	④
いいね!	138	—	88	—
リーチ	1164	604	887	451
インプレッション	1474	614	1052 (再生)	464



◀▲トップ画像以外に分かりやすくなるようご用意いただいた画像(他、県HPの画面キャプチャ添付あり)

▲Instagramインサイト (スマホからのみ利用できる、Instagramの分析ツール) での分析 (9月4日時点) 用語解説  
リーチ: 投稿を閲覧した人数 (1人が複数回閲覧しても1人分でカウント)  
インプレッション: 投稿が表示された回数 (同じ人が複数回閲覧してもカウント)

(参考) 情報発信、SNSの活用について

今後の取り組み

9月20日からスタート!

動物管理センターのInstagram

投稿内容

譲渡動物、動物愛護、イベントに関する情報  
犬猫や動物管理センターの日常等を  
写真やイラスト等を活用しPR  
(飼育のアドバイスなど・週1回更新)



フォローをお願いします! ▶

動物管理センターHP: 従来通りに運用

県公式X、LINE: 従来通りイベント告知に活用  
(X→厚生センターでは迷い犬の情報発信に活用事例あり)

